

グループインタビューの実施結果について

1. 目的

白馬村が実施する住民輸送サービスの運行計画策定に際し、より住民の意向を反映させるためグループインタビューを実施し、村民の意見を把握する。

※ 「何パーセントの人がどう思っているか」という量的な情報を調査するアンケート調査（定量調査）のほかに、「何故そう思うか」といった質的な情報を調査するインタビュー調査（定性調査）を併用することにより、より詳細な住民意識・意向を把握しようとするもの。

2. 実施概要

グループインタビュー開催概要

日 時	場 所	地 区	会の名称	参加人員	担当職員
H20. 7. 8 11:00-11:45	飯森公民館	飯 森	もみじ会	18人	田中
H20. 7. 8 14:15-15:00	嶺方公民館	嶺 方	ラベンダーの会	6人	太田
H20. 7. 8 14:15-15:15	新田公民館	新 田	せせらぎの会	9人	田中
H20. 7. 9 11:00-11:50	沢渡公民館	沢 渡	糸桜の会	12人	田中
H20. 7. 10 11:10-11:50	堀之内公民館	堀之内	白嶺の会	10人	田中
H20. 7. 10 11:30-12:05	八方文化会館	八 方	ひょうたんの会	7人	太田
H20. 7. 14 11:20-12:00	塩島基幹センター	塩 島	トマト会	10人	田中
H20. 7. 14 11:30-12:00	深空基幹センター	深 空	見晴らしの会	7人	太田

3. 意見の内容と総括

(1) 運行方式

①乗合タクシーについて

- 白馬村だけ住民のバスがなかったので大変ありがたい。
- バスに乗る人がどの程度いるか疑問であるため、大きい車を使うよりもタクシー車両の方が効率がよい。
- よいアイデアだと思う。乗合運行でも構わない。
- ワンボックスカーでも特に問題ないと思う。
- 乗合だと同乗した人と話をする楽しみもある。
- 村内の人だけならお互いに譲り合って乗車することができる。
- 家まで来てもらえればバスより便利である。
- プライバシーの問題があるため乗合タクシーよりも普通のタクシーの方がよい。
- 銀行→買い物→医者 といったような貸し切りでの使い方ができない。
- 座席数が少ないためバスよりも乗りにくいのではないかと。



【総括】

タクシー車両による乗合方式でも十分満足が得られる。

②デマンド型運行について

- 玄関まで送り迎えするということは、高齢者にとってとてもありがたい。
- 特に冬期間はバス停まで歩くのが大変なため、自宅まで来てくれるのがうれしい。
- 目的地まで連れて行ってくれるのならその方がよい。
- 玄関まで来てもらうのが大変であれば近くまで出てもよい。
- 効率的でよい考えだと思うが、目安の時間がわかった方がよい。
- 便利な方式だと思うが医者予約時間に間に合うか心配。
- 最初うまくいなくても、だんだん乗る方も慣れてくるのではないかと。



【総括】

戸口から戸口まで運行するという大きなメリットが生まれることから、デマンド型に伴う予約の煩わしさも解消される。

(2) サービスレベル

①利用対象者

- 若い人のほとんどが車の運転ができるので、65歳以上を対象としてよいのではないか。
- 65歳未満でも足の不自由な人や脳梗塞の人などは利用できた方がよいのではないか。
- 介助する人も一緒に乗車できればありがたい。
- 最初は高齢者向けのサービスとして始めて、将来的には誰もが利用できるようなになればなおよい。



【総括】

対象者は65歳以上の高齢者を基本とする。また障害者など、他に対象となり得る方や付添人の乗車についても検討する。

②予約方法

- 電話予約がよい。
- 電話の予約に慣れてしまえば問題ないが、最初は難しそうで嫌だ。
- 予約は前日でも構わない。
- 医者は混雑状況によって帰りの時間がわからないため事前の予約が難しい。
- だいたいのは前日予定が立つが、当日の朝予約できればありがたい。
- 帰りの予約は朝出るときに決めることができればありがたい。
- 突然の用事があったときに対応できればありがたい。
- 前日予約ではなく、出発時刻の30分前の予約なら使いやすい。



【総括】

予約は電話によるものとする。また、予約の締め切り時間は、通院している方の帰りの便の予約を考慮すると出発30分前が理想である。

③運行日

- 土日は家に若い者がいるので、平日の運行だけでよいのではないか。
- 土日は役場、金融機関、医者が休みなのでほとんど乗らないと思う。
- 村の財政も厳しいが、平日毎日運行すればありがたい。
- 買い物は我慢できるが、医者の予約は人によって違うので、平日毎日運行すればありがたい。



〔総括〕

平日毎日運行する。

④便数

- 1時間に1本あれば融通がきいて都合がよい。特に午前中は便数がほしい。
- 最初から無理をせずに、多少不便なくらいの方がよいのではないか。
- 村の財政もあるので、決められた時刻に自分の行動を合わせる。
- 年寄りなので時間が来るまで待っていれば良い。



〔総括〕

利便性を考慮すると各方面1時間に1本の設定が理想である。

⑤運行時間

- 始発は8:30～9:00頃、最終は16:00～17:00で十分である。
- 8:30から16:00ぐらいまででよいのではないか。
- 9:00から16:00ぐらいまでで十分ではないか
- 始発時刻は、8:50の列車に乗車したいため8:00がよい。
- 買い物へは9:30頃出ればよい。(午前中に帰れるような時間)
- 病院の予約に合わせた時間に運行すればありがたい。
- 特に指定した時間はない。



〔総括〕

午前8時30分から午後4時頃を目安に運行する。

(3) 運賃

①普通運賃

- 300円から500円くらいが妥当かと思うが、村の財政を考え、長続きさせるには500円でもよい。
- 往復500円くらいがよいが、頻繁に乗車するわけではないので、往復1000円でもよいと思う。
- 片道500円以上だと難しい。
- 現在白馬町へタクシーで通院すると往復6000円にもなる。タクシーと比較すれば300～500円でも安い。
- 300円程度なら気軽に利用できるのではないか。
- あまり安いと長続きしないのではないか。
- 乗車する距離によって運賃を変えてもよいのではないか。キロいくらという考え方もある。
- 距離に関係なく、1回いくらと決めた方がわかりやすい。
- 神城には役所やスーパーがなく、村の健診でさえ北城だけになってしまった。そのようなことも料金設定に配慮して欲しい。



【総括】

300円から500円程度が妥当な金額である。

②割引制度

- 回数券割引があればありがたい。



【総括】

回数券割引を導入する。